

新宿区立漱石山房記念館 令和7年度第2回運営学術委員会 議 事 概 要

日 時：令和8年1月22日(木) 午前10時から12時まで

会 場：新宿区立漱石山房記念館 地下1階 講座室

出席委員：半田昌之会長、中村廣子副会長、大木志門委員、大木真徳委員、河野奈美江委員、
山岸吉弘委員、山口進委員、吉川友子委員、波多江誠委員、小泉雅一委員、
守谷賢一委員、村上京子委員、北見恭一委員（13名）

欠席委員：佐藤裕子委員、松下浩幸委員（2名）

事 務 局：新宿区文化観光課

神崎章（文化観光課長）、大塚孝之（文化資源係長）、山田郁也（文化観光課主任）、
久米美弥子（文化観光課主任・学芸員）、岡村知美（文化財研究員）

財 団：公益財団法人新宿未来創造財団（漱石山房記念館指定管理者）

岡崎保（文化・芸術振興部長）、嘉山澄（漱石山房記念館係長）、今野慶信（漱石山房記念館学芸員）

1 【次第】

1 第5期の委嘱について

2 展示見学

《通常展》「夏目漱石と漱石山房 其の三」見学

3 議 事

（1）通常展見学の感想等について

（2）令和7年度記念館事業等の実績及び事業予定

（3）令和8年度記念館事業等の計画

2 【議事概要】

（1）《通常展》「夏目漱石と漱石山房 其の三」感想等について

- ・ 漱石が妻にあてた手紙には、「吾輩は猫である」の掛け合いのような二人のやり取りが書かれており、当時としては珍しい男女の公平な、言いたいことをお互い我慢しないで言いあえる関係性がみえた。
- ・ 展示室の出口付近に設置されているモニターで、展示のポイントを紹介する展示解説の動画が流れていたが、良い取り組みだと思う。今後もこのような工夫を継続してほしい。
- ・ 動画を制作する職員は決まっているのか。
- ・ 展示されている書簡からは漱石の人柄が読み取れる。特別展「『吾輩ハ猫デアル』」の開催期間

中、子どもの来館割合はどの程度だったか。

※記念館から、動画作成・運用方法、特別展の来館人数・割合について説明を行った。

(2) 令和7年度記念館事業等の実績及び事業予定

- ・夏目漱石コンクールで、新宿区内からの応募が今回急増した理由を知りたい。
- ・今後も、小中学校、高校、区内在住者に広報を継続し、コンクールに参加いただけるような形になるとよい。
- ・今回の読書感想文応募作品のうち、手書きでの提出とデジタルでの提出の比率を知りたい。

※新宿区教育委員会の協力の結果、区内小中学校からの応募が増加した旨の説明を行った。

また、読書感想文応募作品の手書き・Word等による作成割合について説明を行った。

(3) 令和8年度記念館事業等の計画

- ・企画展「教師・夏目漱石」について、文豪になる前の教師としての漱石を取り上げるという着眼点は面白い。熊本と漱石に注目した企画展、『坊っちゃん』の特別展では、子どもにも訴求できるような工夫を期待する。
- ・展示サブタイトルについて、「●●系資料を中心に」というのは非常にアカデミックな感じで、一般向けには若干ハードルが高く映る。工夫が必要なのではないか。
- ・学校における指導要領と、社会科見学はリンクしている。博物館と美術館を活用することや、そういった社会教育系の施設との連携を深めるというのを要領のなかで触れられているので、その辺の事情とマッチングした教育普及活動を、この漱石山房記念館でも行っていければと思う。

※記念館から、子どもに向けた展示手法等について説明を行った。タイトル等を含め今後も工夫・検討を行う旨説明を行った。